

日 時 平成26年10月10日(金)9:55~10:40

場 所 附属小 6年1組教室

指導者 梶原 康裕

本授業の主張点

題材の導入期から現在に至る思いや実践活動などを仲間と伝え合う「ほわっとタイム」を設け、自己の変容に気づき、「努力を認められてよかった」という他者から得られた安心感を抱けるような振り返り活動を行います。

1 題材名 自ら学ぶ楽しさを追求しよう～自主学习ノートを通して～

2 題材のねらい

自主学习の意義や効果について再認識し、どのように自主学习ノートを進めていくか計画を立て、意欲的に取り組む中で、学ぶ楽しさを実感できる。

3 評価規準

- 自分の目標を立て、自主学习に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。(関心・意欲・態度)
- 自分が立てた目標に向けて、どのように取り組むべきか考えることができる。(思考・判断・実践)
- 自主学习の意義や効果について分かる。(知識・理解)

4 題材設定の理由

子どもの側から

ほとんどの子どもは日々の宿題など与えられた課題に対しては、まじめに取り組んでいる。しかし、日々の課題をこなすのに精一杯になり、出された課題に対して受け身となり、向上心をもって自主学习を進めたり、自分自身で学習の進め方を工夫したりする子どもは少ない。また、クラスの半数以上は学習塾に通っている。そこでは、テキストを使って学校で学習する内容を予習したり、発展的な内容を解いたりしている。また、学習塾から宿題が出ている子どももあり、学校から出る宿題と両立させるのに苦労しているようだ。

5月に自主学习についての取り組みについて聞いたところ、今までも自主学习に取り組んできた経験があった。しかし、「何を書けばよいのか、どんな書き方をすればよいのか分からない」という意見があった。そこで、過去の6年生が書いた自主学习ノートを見せ、自主学习の進め方について説明を行った。初めは意欲的に取り組み、丁寧に学習を進める子どもも多く見られたが、時間の経過とともに少しずつマンネリ化してきて、個人差はあるものの、自主学习ノートを提出する子どもの数は減った。自分なりに工夫をしたり、より高いめあてをもって計画的に自主学习を進めたりしているが、全体として自主学习に対する意欲は低い。

教師の側から

「おやつを食べるために」といった目的をすり替えた家庭学習や、やらないと怒られるから仕方なくやる宿題などの「ごほうび」や「罰」によって左右される学習では、自主性や創造性を阻害してしまう。自主学习は自分で学習内容を選択するため、学習に対して主体的になれ、やる気が引き出される。自分にとって本当に必要な学びは何かを考え、選択するトレーニングを積むことによって、思考の深さに差が生まれる。子どもが自分自身を好きになり、自信をもつことが物事へのやる気を喚起し、受け身の学習者から主体的な学習者への成長を促す。

学ぶことは、本来とても楽しいものである。新しいことを知ったり、できるようになったり、知らない世界を調べてみたりすることで子どもがもっている知的好奇心が引き出される。しかし、学習を無理強いしたり、強制されたりすることは、その子の中の学習のイメージを悪くし、自己評価も下げてしまう。

自主学习などの家庭学習は、個々に実践していくものであるが、子どもに共通の問題として取り上げて指導していくことで、集団思考を生かしたよりよい活動に結び付けていくことができると考える。

題材のねらいに迫るための主な手だて

本題材では、子どもが自ら「知りたい」「やってみたい」「調べたい」など学習に対しての内発的な動機づけを高め、持続可能な実践活動にしていくことをねらっていく。

まず「おこす」段階では、「自分ではできているつもりでも、本当はできていない」という正確な自己認識を促す（「はだかの王様タイム」）ために、夏休みの宿題の取り組みの結果を紹介する。出された課題に対してはほとんどできているが、自主学習ノートの取り組みがほとんどできていないことを認識させる。自主学習の意味とその必要性をみんなで話し合い、これから取り組んでいくことを自己決定する。その後、自己決定したことを自己評価しながら継続して行えるようにしていく。始めた頃は、提出もよく意欲的に取り組むことが予想される。しかし、日にちが経つとともに、徐々にできなくなっていくであろう。

そこで、「つくる」段階では、自分で決めたことができなくなった要因を仲間と互いに受け止め合う活動（「はりータイム」）を行い、解決方法の検討を小グループで行わせる。各グループで出た意見を全体で共有させ、「この方法だったらできそうだ」という再自己決定を行う時間を設ける。この時、教師側の思いも大切だが、今まで子どもが取り組んだ自主学習ノートを紹介し、良いところを賞賛し、子どもの必要感を引き出すようにしたい。そこから、教室の一角に自主学習コーナーを設け、お互いの取り組みが分かるようにし、書くときの参考になるようにする。また学級通信で各家庭に自主学習ノートの取り組みについて伝え、ノートを見てもらうように促す。そして、自己評価チェック表を用い、自分の取り組みが分かるようにする。

約3週間経ってから「ふりかえる」活動を行う。まずワークシートに記入させる。そこには、以前の自分の気持ちと今の自分の気持ち、また以前の自分の行動と今の自分の行動を記させ、自主学習についての気持ちの変化、ノートの中身の改善等、自己の変容が分かるように記入させる。本時では、小グループに分かれ、お互いに今までの取り組みを伝え合う中で、変わってきた気持ちや行動、他者と強く共感したことやこれからの自分の生活とのかかわりなどの考えをまとめる場を設定する（「ほわっとタイム」）。その活動を通して、大きな自信が生まれ、「これからも自主学習を続けていこう」「少しの時間を見つけて取り組もう」等の思いとなり、学ぶ楽しさを感じながら持続可能な実践につながると考える。その後も、クラス内に自主学習ノートの良い例を掲示したり、表彰したりする中で、実践活動の継続を後押ししたい。

5 本題材の展開(全3時間+課外) ・・・視点に関わる部分

| 段階 | 時 | 子どもの意識の流れ | 活動の流れ | 教師の働きかけ | 評価 |
|-----|---|--|---|--|----------------|
| おこす | 1 | 最初は自主学習に取り組んでいたのに、夏休みの間どうして自主学習ノートに取り組まなかったのかを考え、これから何をしていくかを決めよう。 | 夏休みの宿題の取り組み状況とアンケート結果を見て、これから何をしていくかを自己決定する（「はだかの王様タイム」）。 | <ul style="list-style-type: none"> 自主的な学習がなかなか取り組めていない現状を認識できるよう、夏休みの宿題の取り組みについてまとめた結果を見せる。 どうして自主学習が学力向上に役立つのかが書かれた記事を子どもたちに見せ、効果を知らせる。 これから自分ができること目標をたてやすいように、具体的な取り組みの例をいくつか紹介する。 | 関心 意欲 態度 |

| | | | | | |
|-------|-----------|---|---|---|----------------|
| おこなう | 課外 | 自分でたてためあてを守って自主学習ノートに励もう。 | 自己決定したことを実践する。 | <ul style="list-style-type: none"> 実践ができているか自主学習ノートとチェック表を確認する。 自主学習ノートを提出した子どもには個別に、良かったことや改善すべきことについて声をかける。 | 思考判断 実践 |
| つくる | 2 | 自分でたてためあてが守れなくなってきた理由を考え、解決方法を探そう。これから必ずやっていくことを決めよう。 | 自主学習の意義や効果について再認識し、これからどのように進めていくかの計画を立て、再自己決定する（「はりータイム」）。 | <ul style="list-style-type: none"> 自主学習がなかなか行えなかった要因を考えさせる中で内発的動機を強化する。 再自己決定に向かわせるために、小グループでの解決方法の場を設定する。 自主学習をやってきた子どもの意見や実践記録を参考にさせ、実現できそうな目標を立てるように促す。 | 知識 理解 |
| おこなう | 課外 | 自分でたてためあてを今度こそ守って自主学習ノートに励もう。 | 再自己決定したことを実践する。 | <ul style="list-style-type: none"> 実践ができているか自主学習ノートを確認する。また、内容についても確認し、コメントを入れて返す。 自主学習ノートを提出した子どもには個別に、良かったことや改善すべきことについて声をかける。 | 思考判断 実践 |
| ふりかえる | 3 (視点) | 自分がどのような努力を重ねてきたかを振り返ろう。 | 自分が取り組んできたことや過去の思いと現在の思いを伝え合う（「ほわっとタイム」）。 | <ul style="list-style-type: none"> 今まで努力してきた自主学習について全体で共有することで自己の変容に気づかせる。 温かい雰囲気を出せるよう、子どもとともに「ほわっとタイム」の演示を行う。 共に努力してきたことをお互いが認め合い、自己の変容を認識できるよう、付箋紙に一言コメントを書いて渡すように促す。 | 関心 意欲 態度 |

6 本時の指導

(1) ねらい

友達からの感想を聞いてこれまでの活動をふりかえり、自主学習を続けていく意欲をもつことができる。（関心・意欲・態度）

(2) 展開 ・ ・ ・ 視点に関わる部分

| 学習活動と予想される子どもの反応(・) | 教師の働きかけ(○)と形成的評価(◆) |
|---|--|
| <p>1 今まで取り組んできたことについての保護者のコメントを聞く。</p> <p>2 本時の学習のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自主学习ノートの変化から自分の努力をふりかえろう。 </div> | <p>○ 自己の変容に目を向かわせるために、自主学习に取り組んで変わったと記述している保護者の感想を紹介する。</p> |
| <p>3 「ほわっとタイム」の進め方について知る。</p> | <p>○ 以前はできなかったことと今はできるようになった理由を全体で掘り下げる。</p> <p>○ 自己の変容に目を向けさせるために、子どもの3行日記を紹介する。</p> |
| <p>4 「ほわっとタイム」を行う。</p> <p>(1) 以前の気持ちからできるようになったこととできるようになったきっかけを小グループで伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の体験談を聞き、「同じだったよ」シールを貼り合う。 ・ 友達の取り組みに対しての感想を付箋紙に書き、それを渡す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 〈できるようになったこと〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 少しの時間でも取り組めた。 ・ 苦手な教科に取り組めた。 ・ 取り組む時間が長くなった。 ・ 自分で課題を見つけることができた。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 〈やる気になったきっかけ・気持ちの変化〉 <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のノートを見て参考になったから。 ・ 先生から励ましの言葉やコメントがあったから。 ・ 友達も毎日取り組んでいたから。 ・ きれいなノートを作りたかったから。 ・ 親に励まされたから、褒められたから。 </div> <p>(2) 友達との交流を通して思ったことを振り返りカードに感想を記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りをして、自分がこんなに自主学习ノートを進められるようになったのだなと改めて感じた。 ・ 自分で課題を見つけながら、これからも続けていきたい。 ・ 友達のノートを見て、書き方やまとめ方の参考になった。 ・ 友達も頑張っているから、自分も努力していこうと思った。 </div> | <p>○ 今までの体験を伝えやすくするために、事前に記入させておいた振り返りカードを見るように伝える。</p> <p>○ 友達の発表に対して同じような体験があった子どもには振り返りカードにシールを貼るよう促す。また、コメントを添えながらシールを貼るようにも促す。</p> <p>○ 安心できる活動を保証するため、適宜各グループに入り、友達の発表に対しての励ましを行う。</p> <p>○ 友達の取り組みや思いを聞き、感想を付箋紙に書くように促す。</p> <p>○ 自主学习ノートを机の上に置き、お互い見ることができるようにする。</p> <p>○ 今回の振り返り活動でどのような思いになったのか、自己の変容が何だったのかを記述するように伝える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆ 友達からの評価で、これからも実践を続けていこうという気持ちを記述しているか。【ワークシート】</p> <p>A 自分が成長した点と今後の具体的な目標を立てている。</p> <p>B 今後の具体的な目標を立てている。 →自分の心の成長に触れることができるように声をかける。</p> <p>C 今後の具体的な目標を立てることができずにいる。 →友達の自主学习ノートを参考にし、目標を立てることができるよう支援していく。</p> </div> |
| <p>5 感想を発表する。</p> | <p>○ 自分の成長を一層感じ、困難にも負けない強い気持ちが持てるように、友達の発表を聞く活動を設ける。</p> |
| <p>6 卒業生の応援メッセージの映像を見る。</p> | <p>○ これからも実践を続けていこうという意欲を高めるために卒業生のインタビューを流し、中学校での自主学习ノートの取り組みを紹介する。</p> |

